



ねっどわーく



H24. 10. 10 No.46

■たくさんのありがとうございます！(^^)

いよいよ公開研に向けて秒読みとなってきました。19日の授業に向けて、授業者の先生方は、指導案を含め、子どもたち一人一人が主役になる授業を構想していらっしゃる、本当にご苦労様です。校長先生には全体サポート、教頭先生には、指導案検討から外部渉外関係、さらには担当外の先生方におかれましては、校内環境整備といった面からのサポート、本当にありがとうございます。6の3の子どもたち曰く「今までにないくらい、すごくきれいだね！」と(笑)。こんなふうに整った環境で学習できる子どもたちはとても幸せだなあと感じます。これもみなさんの持ち場持ち場での「チーム長岡力」の賜物と感じています！

自分事で恐縮なのですが、4月から先生方の指導案をはじめこれまで授業を見せていただいたことで、自分も手探り状態だったのが、一つずつ、わかっていくという勉強になっていることがとても多いです。キーワード的な、もしくは、どこかの本に書いてあったような内容が、実際の先生方の指導から「あー、なるほど。こういうことなのねー。」と、心の奥底に落ちるというかなんというか。

日々の生活の中で忘れがちになるのですが、自分がこうした知識なり感覚を得ることができたのも、周りの先生方のおかげだなあと。改めて、「お陰様で」という言葉の深さを感じているところです。本当にありがとうございます。

さて、またまた鬼のような事務連絡なのですが、指導案、以下の日程で提出をお願いします。

指導案 ⇒ 11日(木)の朝まで 提出

印刷製本の関係上、この辺切で宜しくお願いします。とはいっても、本時案の差し替えは十分OKです。あ、それから当日は座席表も宜しくお願いします。教室前においておきたいと思いますので。

で、ここから自戒したいところ。(もちろん他の先生方はそんなことはないと思いますが)こうした研究会があると、どうしても研究会をよくしたいというかよく見せたいというか、そういう欲が出てくる。研究会では、欲は良くない。あ、これ、自分の過去の経験上です。また、指導案を煮詰めに煮詰めると(もちろん、大事なことです!)、それにとらわれてしまい、子どもたちの意識をどこかに置いてきてしまう。実際の授業では、いつものように、子どもたちが、今何を考え、どこに向かおうとしているのか、また、ピンポイントでどんなことを支援する?等々、そこを忘れないようにしたいなあ。もちろん、指導案を考えていく段階で、どちらの方向にいくか、いろんなシュミレーションを考えていらっしゃると思うので心配はいりませんね。でも予想外のことが起きますからね(笑)

「授業が楽しいのは、予想もしないことが起こること」です。いわゆるズレです。「お、そっちなー。」とか「そこにひっかかったかあー。」とか。授業者にしてみれば怖いことなのかもしれませんが、見ている人にとっては、とっても楽しいし、勉強になる。だから、予想外のことが起きたら、自分の範疇を超えた子どもたちを嬉しく思う方がいいと思います。

授業者ではあるけれども、一緒に授業を楽しんでいる者になったほうが絶対精神衛生上楽です。うーん、幽体離脱(笑)して、教室の天井から俯瞰的に授業を見ているような感覚??

ぜひ、公開研をゴールとするのではなく、日々の授業の一環として、授業者も参観者も楽しみたいですね。何より子どもたちが楽しんでいる(課題に向かっている)といいなあと思っているところです。 ⇒あ、ウラも見てね(^^)